

芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報	
• 学部	システム理工学部
• 学科(コース等)	機械制御システム学科
• 学年(渡航開始時)	3年
• ウェブ等への体験談掲載への同意	<input type="checkbox"/> 氏名も掲載してよい <input checked="" type="checkbox"/> 学部・学科まで掲載してよい <input type="checkbox"/> 完全匿名での掲載を希望

留学先情報	
• 渡航型/オンライン型	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航型 <input type="checkbox"/> オンライン型
• プログラムタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 授業履修型 <input type="checkbox"/> 研究室配属型
• 国・地域名	台湾
• 都市名	台北
• 留学先大学名	國立台北科技大学
• 留学期間	<input type="checkbox"/> 3ヶ月未満 <input checked="" type="checkbox"/> 3ヶ月～半年（1セメスター程度） <input type="checkbox"/> 半年～1年（2セメスター程度）
• プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等) 2024年9月上旬 プログラム終了時期 (2021年9月上旬等) 2025年1月中旬
• 留学時期 (主に留学をしていた時期にチェック をお願いします)	<input type="checkbox"/> 1年前期 <input type="checkbox"/> 修士1年前期 <input type="checkbox"/> 1年後期 <input type="checkbox"/> 修士1年後期 <input type="checkbox"/> 2年前期 <input type="checkbox"/> 修士2年前期 <input type="checkbox"/> 2年後期 <input type="checkbox"/> 修士2年後期 <input type="checkbox"/> 3年前期 <input type="checkbox"/> 博士以上 <input checked="" type="checkbox"/> 3年後期 <input type="checkbox"/> 4年前期 <input type="checkbox"/> 4年後期
• 上記協定校を志願した理由を教えてください。	アジア圏での留学を考える中で、治安が良く、日本とも距離が近い台湾は理想的な選択肢だった。特に台北は犯罪率が低く、安心して生活できる。気候も温暖で過ごしやすく、寒さが苦手な自分には適していること。言語面でも、漢字を使うため大まかな意味を理解しやすく、英語の授業も充実している点が魅力だった。また、日本文化の影響があり、食や生活習慣に馴染みやすいことも決め手の一つだった。さらに、学科の先輩が台北科技大学に留学していたので、実際の体験談を聞いて安心できた。
• (研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。 (SIT指導教員の紹介等)	

留学中の学籍について	
• 休学の有無	<input type="checkbox"/> 休学をした <input checked="" type="checkbox"/> 休学しなかった
• 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。 (留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取得済み、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等)	国際プログラムに属していた

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。異文化交流を深めるために留学生が多く集まる授業を積極的に選択した。特にグループワークを中心とした授業では、多国籍の学生と協力しながら課題に取り組み、異なる視点や考え方を学ぶ機会が多かった。現地の教授や学生とディスカッションを重ねることで、新たな知識を得るだけでなく、実践的なスキルも身につけることができた。

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。(たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。)

科目名①	Circuit Theory (I)	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	グループでのポスター発表に向けたグループワークと、講義を並行して行う。講義中に課題が出て、リアルタイムでアプリを通して解答する。グループワークと講義中課題の点数に応じて、期末テストの成績に含まれる割合が決まる。授業に出席して、課題に解答し、グループワークに参加すれば、多くの学生は単位に必要な最低点はカバーすることができる。グループワークでは実際の製品の回路を分析する。各グループ好きな回路を選んでその動作や特性を調べる。講義では、回路の分析方法を学び、オームの法則やキルヒホッフの法則、AC回路など、基本的な理論を学ぶ。これらの分析技術をグループワークで選んだ回路に適用することで実践的な回路の理解を深めた。		
科目名②	Computational Fluid Dynamics	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	ANSYS と COMSOL を用いて、さまざまな流れの問題を計算した。具体的には、一次元および二次元の定常流、非定常流、熱伝導問題、境界層の複雑な流れの問題を扱った。授業ではペアを組み、各自が好きな構造物を選んで分析を行い、プレゼン発表した。COMSOLでは企業から講師が来て講義を受けた。授業中に課題が出て、作業をしながら適宜TAや教授に質問をし解決する、という授業の流れだった。		
科目名③	Fundamental Computer- Aided Design I	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	Rhino 3D の使い方を学び、その機能を理解することができた。学期末には図面、レンダリング、アニメーション、3Dモデルが含まれるコンセプトデザインプロジェクトを完成させた。YouTubeに講義動画が上がっているので、分からない点は繰り返し確認することができた。中間テストはその場で時間内に指定されたモデル(ロケットかタンク)を完成させる。		
科目名④	Data Structure	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	コンピュータサイエンスにおけるデータ構造に関する基本的な概念とトピックを学んだ。ADT(抽象データ型)、複雑性、静的構造、配列、スタック、キュー、連結リスト、木、再帰、ソート、検索、グラフなど。定期的に課題が出され、課題では実践的な問題を解決するためにプログラムを組むことになる。これらの課題は時間がかかることが多く、学んだアルゴリズムを用いて実際の問題解決能力を養うのに役立った。		
科目名⑤	Design Aesthetics	単位数 (現地単位数)	2
科目概要	主に製品デザインプロジェクトのコンセプトと方法を学んだ。デザインロジック、シナリオプランニング、表現、読みやすさ、意味論、問題解決、コンセプト生成の進化、技術と市場など。授業内では Kahoot! によるクイズや、中間のグループ発表で成績がつく。グループ発表では、留学生が多いため、国による公園のデザインの違いを分析し、その成果を発表した。		
科目名⑥		単位数 (現地単位数)	
科目概要			

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。

国際寮では共用スペースでの会話や食事を通じて、さまざまな国の学生と交流し、お互いの文化や価値観を学ぶことができた。また、週末には友達と台湾各地へ小旅行に出かけ、現地の観光地や伝統文化に触れる機会を持った。さらに、国際交流サークルにも参加し、現地学生や他の留学生とイベントを企画することで、多様なバックグラウンドを持つ人々と交流を深めることができた。

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。
(当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)

留学を通じて、当初の計画通りに専門分野を学ぶだけでなく、異文化交流の重要性を実感した。一方で、現地の歴史的な背景をもっと理解しておけば、より深い議論ができたと感じた。特に、中国・日本・台湾の関係について、意見を求められることもあり、中国人の留学生も多く、発言には慎重になる必要があった。また、中国語をもう少し勉強しておけば、日常生活や友人との会話がより楽しめたと思う。台湾語を話すと現地の人喜んでくれることも多かった。さらに、世界各国、特にヨーロッパの英語での国名や、それぞれの国の食文化・伝統を少しでも知っておくと、初対面の相手とも会話が弾み、仲良くなりやすいと気づいた。

留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など) 英語で大学名、学部学科をどのように表記するか知っておくこと。
- ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
(渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。) 下宿している学生は、ビザ申請で2回地元へ帰省する必要があるため、予定を確保すること。私の場合、受け取りは郵送で受け取ることができたので一度の帰省で済んだ。
- その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。 協定校への出願時には、計画的に動くことが難しく、ギリギリになってしまうことが多かったため、反省することが多かった。また、ビザや航空券の手配に加えて、履修予定の科目について事前にシラバスをよく確認し、担当の先生ともよく相談して、留学前にあらかじめ決めておくことが重要だと感じた。現地での履修登録はあっという間に終わってしまうので、準備をしっかりとっておかないと、後で焦ることになる。後輩には、早めに準備を進め、計画的に動くことを勧めたい。また、書類の提出期限や手続きの順番をしっかりと確認し、余裕を持って進めることが大切だと伝えたい。

滞在先の宿泊施設などの情報 (渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

- 宿泊先のタイプを教えてください。(協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等) 指定校の寮
- 上記宿泊先はどうやって手配しましたか?(出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等) 出願時に入寮希望を聞かれ、そこで希望を出した。
- 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか? 地下鉄とタクシーを利用し、1時間程度で到着した。
- 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか?交通手段や所要時間を教えてください。 主に地下鉄(MRT)を利用していた。寮から最寄り駅まで徒歩10分、電車は15分程度だったので、30分もかからなかった。乗り放題の定期券を持っていたので、気候に合わせて、バスを利用して通学することもあった。バスの場合、寮、学校ともに目の前にバス停があり、通学時間は30分程度だった。
- 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。 部屋には、2人、3人、4人部屋があり、私は二人部屋だった。2人部屋はかなり広く、2段ベッドではなくマットレスがついているベッドで、快適だった。2段ベッドの部屋は自分でマットレスを購入する必要があった。シャワー、トイレも2人、3人部屋は一部屋に一つついていて、想像よりきれいだった。4人部屋はとなりの部屋とシャワー・トイレは共有だった。ウォーターディスペンサーはあり熱湯は出るが、電子レンジと冷凍庫がない点が不便だった。

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)	¥0	
往復航空券代(往復)	¥80,000	
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	¥130,000	
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)	¥20,000	
計	¥230,000	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥27,000	1 Semester で 22500NTD
食費/月	¥25,000	
その他/月	¥12,000	定期券, 電気代, SIM
計	¥64,000	

奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥60,000	
計	¥60,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

大学の正門

宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

滞在していた、2人部屋

その他、任意の写真



説明文

クリスマス前の正門

その他、任意の写真



説明文

寮の共有スペース

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。